

皆様からのご質問にお答えします ～震災後に地域の皆様から寄せられたご質問～

ご質問：東海第二発電所に大きな津波が来たとしたら、福島第一原子力発電所と同じようになるのですか？

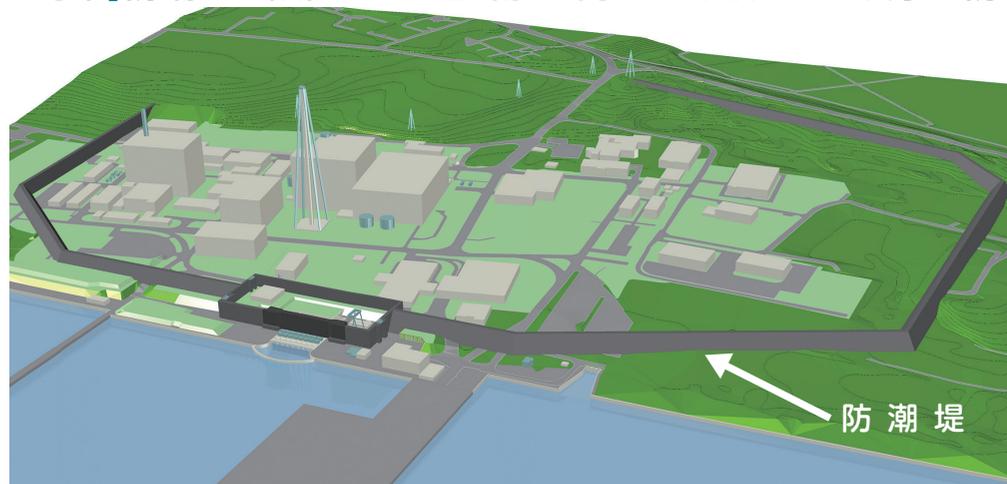
回答：福島と同じ規模の津波が来たとしても、実施した対策により、同様の事故を防止することができます。また、体制面と運用面の強化として、緊急時の対応要員を24時間体制で待機させるとともに、昼夜を問わず大容量の高圧電源車の運転操作や大容量ポンプ車による水の汲み上げなど、訓練を繰返し行っています。

対策①【浸水防止対策】：津波が来たとしても重要な設備が浸水しない対策

対策②【電源確保対策】：発電所内で全ての電源がなくなるような対策

対策③【注水冷却機能確保対策】：原子炉や使用済燃料プールに冷却水を供給する対策

【さらなる対策】防潮堤を設置し、発電所敷地内への津波による浸水を防止します。



防潮堤設置イメージ図

対策①



(例) 重要設備のある部屋に水密扉を設置

対策②



(例) 大容量の高圧電源車(5台)を高台に配備

対策③



(例) 大容量ポンプ車・ホース延長車(各6台)を高台等に配備

【訓練】



(例) 防護服、マスクを着用しての地下タンクからの淡水汲み上げ訓練の様相

発電所トピックス

11月28日に原子力防災訓練を実施しました

東海村で震度6強の地震が発生したことを想定し、原子力防災訓練を実施しました。大津波が襲来し、外部電源がすべてなくなったことを前提として、緊急時対策室建屋に災害対策本部を設置し、被害状況の確認を行いながら、重機によるがれき撤去や電源確保、地下タンクから原子炉への淡水注水訓練などを行いました。



発電所の現況

燃料は原子炉から全て取り出され、使用済燃料プールで冷却しています。

東海原子力館（東海テラパーク）のお知らせ

東海テラパークでは、本紙でご紹介した安全対策や訓練の様相などを、各種パネルやビデオでご覧いただくことができますので、ぜひお越しください。

展示物のご案内

- *地域の方々の作品を展示しています
- 11月27日～12月25日
「クリスマス飾り」
- 12月26日～平成26年1月14日
「正月飾り／つるし雛」
～どなたでもご覧いただけます～



東海テラパーク

所在地 那珂郡東海村白方1-1
電話 029-287-1252
開館時間 9時～16時30分
入館料 無料
休館日 年末年始(12/29～1/3)



お問い合わせ先
年末年始(12/28～1/5)及び
土日祝日を除く 9時～17時

日本原子力発電株式会社

茨城総合事務所 茨城県水戸市笠原町978-25 TEL:029-301-1511
東海事務所 茨城県那珂郡東海村白方1-1 TEL:029-287-1250

当社ホームページ
<http://www.japc.co.jp/>